

2020 年度 看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画と評価

問題点	始業前情報収集や終業後の看護記録入力による超過勤務がある
現状	看護管理者は始業前の情報収集を奨励していないが、看護職員は事前に情報収集することで、安心して安全に業務を開始できるという思いがある。しかしスタッフステーションでの情報収集により、患者・家族や他の医療者からは勤務中と認識され、業務を依頼される。またペアナース制度により2名でベッドサイドケアを実施する体制にしているが、ノートPCの不足により、ベッドサイドでの記事入力が困難な状況である。看護記録が残務となるケースが多い。
指標	情報収集や記事入力に関する業務の効率化を図り、時間外勤務を削減する
計画	<ol style="list-style-type: none"> KCH 情報システム管理委員会にノート PC の増台を申請する <ul style="list-style-type: none"> ・2019/12/18 会議で PC 増台要望 ・2020/2/26 会議で再検討⇒6 台増台で承認 PDF かららくらくスマホへ変更し、観察や実施がベッドサイドで入力できるようにする <ul style="list-style-type: none"> ・2020/2/26 会議でらくらくスマホへの変更 22 台申請承認 始業前の情報収集がスタッフステーション以外でできるように、環境整備を行う <ul style="list-style-type: none"> ・各部署でカンファレンスルームや休憩室での情報収集提案 ・スタッフステーションには勤務開始 15 分前より早く出勤しない 勤務時間管理を変更する <ul style="list-style-type: none"> ・タイムカード導入により出退勤時間と乖離時間を管理する(2020.2 月～)
水準 指標要件	<ol style="list-style-type: none"> 始業前の情報収集やベッドサイドでの情報収集・入力ツールとしノート PC を増台する ベッドサイドでの情報収集・入力ツールとしらくらくスマホを導入する 3 階病棟;2 台増台し、計 7 台へ らくらくスマホ 6 台 4 階病棟;2 台増台し、計 8 台へ らくらくスマホ 8 台 5 階病棟;2 台増台し、計 7 台へ らくらくスマホ 8 台 ノート PC やらくらくスマホの活用により、ベッドサイド入力が可能な環境を整備する 病棟看護師の時間外勤務が月平均 6 時間以内となる
評価	ノート PC とらくらくスマホを各部署に導入し、実施前確認や実施記録の簡便化を図った。またタイムカード導入により始業前残業の実態が把握できた。早く出勤しないといけないという認識は希薄化し、実際に 30 分以上前の出勤は非常に少なくなっている。病棟看護師の時間外労働は月平均 6.1 時間、看護部全体は 5.1 時間と短縮した。看護職員の負担軽減を図ることができた。